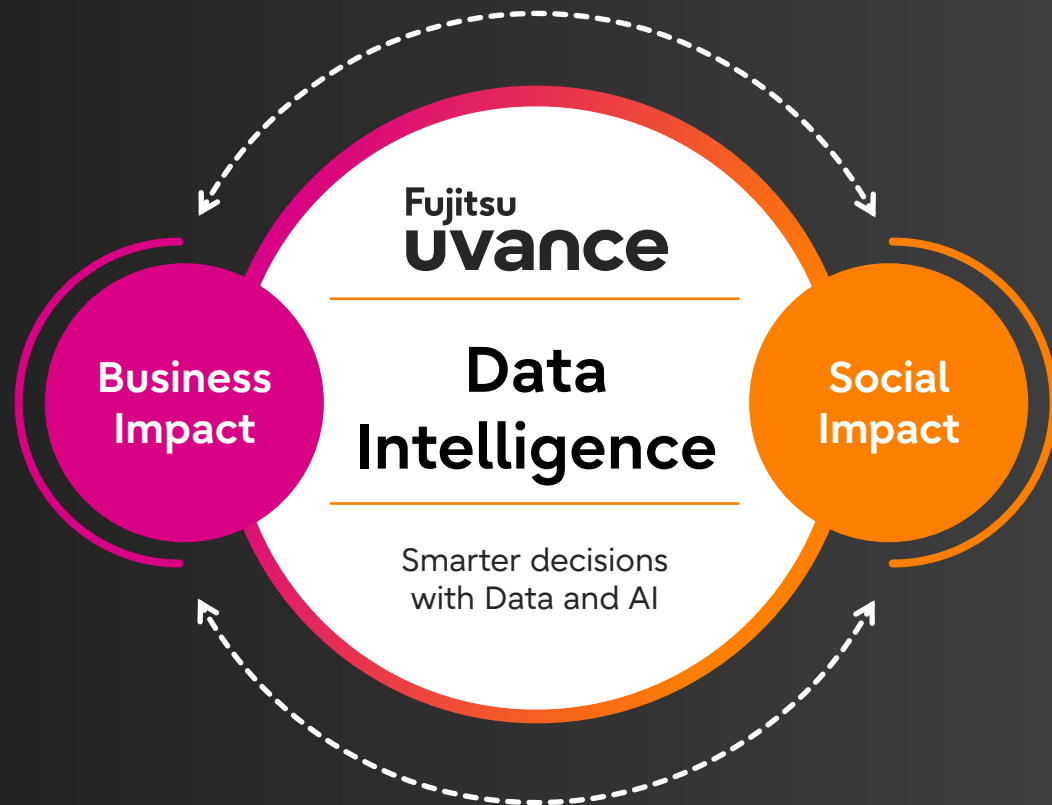
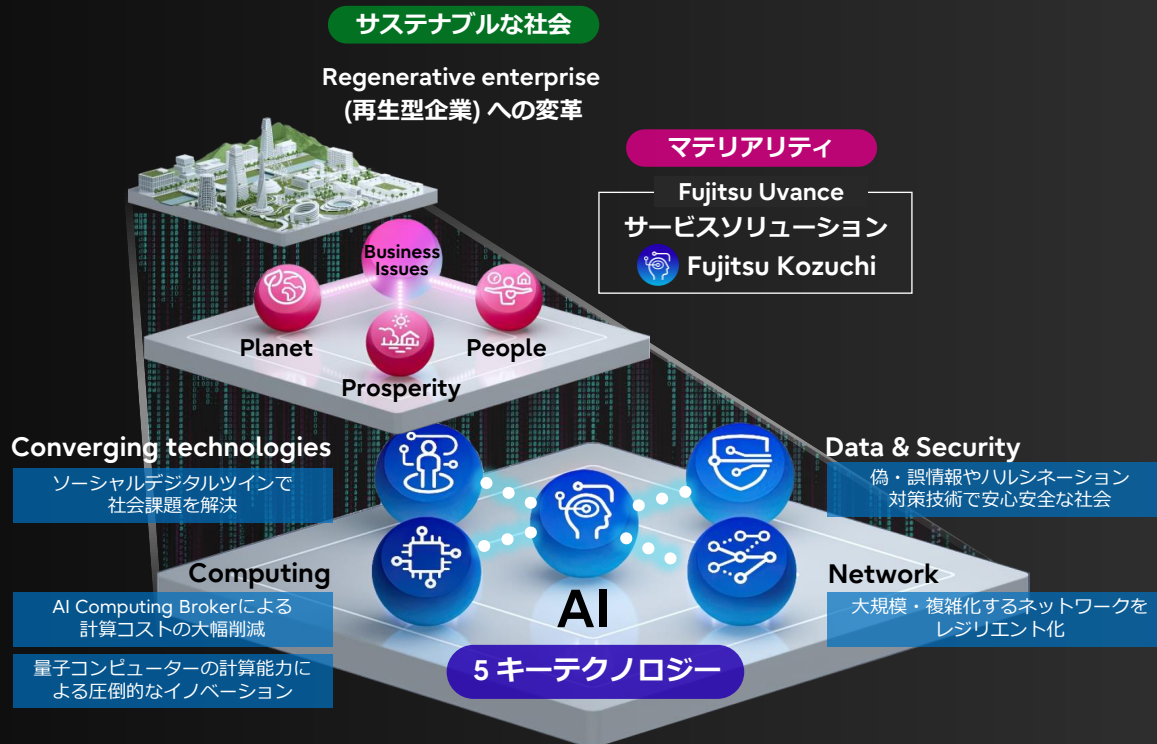


Fujitsu Uvance **update**

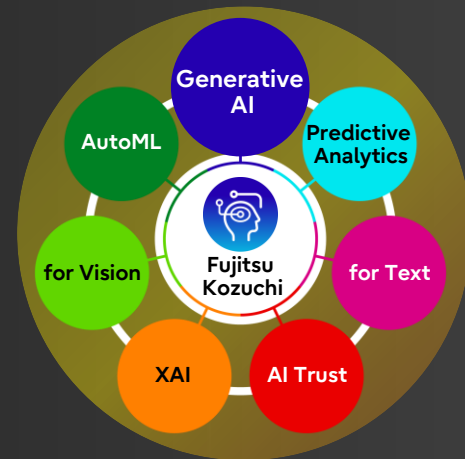
DataとAIがもたらす高度な意思決定
Data Intelligenceによって
ビジネスインパクトと
ソーシャルインパクトを両立





Fujitsu AI 戦略

エンタープライズ領域にフォーカス



強い自社IPの開発 + パートナー

汎用的な大規模モデルと小中規模の特化型モデルの市場が拡大
企業ニーズを満たす特化型モデルに注力

生成AIの企業ユースにおける3つの課題

1. 企業が保有する多様で大量なデータを扱えない
2. 業務ノウハウやプロセスに特化したモデルを迅速に生成できない
3. 企業における規則や法令に準拠させることが困難



企業における生成AIの活用上の課題を解決し、セキュリティ不安を払しょくする

エンタープライズ生成AIフレームワーク

生成AI活用を牽引するグローバルトッププレイヤーを目指す

企業における生成AIの活用上の課題を解決、セキュリティ不安を払拭する 富士通のエンタープライズ生成AIフレームワーク

Fujitsu
uvance

● 世界最高性能達成

ナレッジグラフ
拡張RAG

多様で大規模な
企業データに対応

1000万
文字対応

● 世界最高レベル性能

生成AI混合技術

変化する企業ニーズに
柔軟に対応

0
カスタマイズ

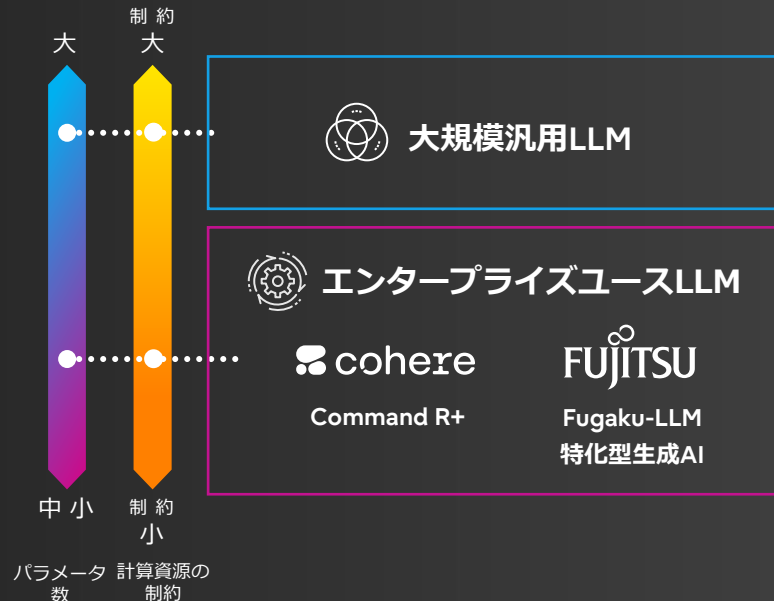
● 世界初

生成AI監査技術

挙動制御で
AI活用の不安払拭

法令遵守

計算資源の制約が少ない最適なパラメータ数で
エンタープライズユース領域を実現



企業ニーズを満たす大規模言語モデル(LLM)の開発 およびサービス提供に向けた戦略的パートナーシップを締結

Fujitsu
uvance



セキュリティとデータプライバシーに特化した エンタープライズAIのリーディングカンパニー

- ビジネスユースにおける最高水準の
フロンティアモデル性能（精度・スピード）
- 高いコストパフォーマンスとフレキシブルな提供形態

“World-Class” Team

- 生成AI専門家とビジネスエキスパートにて構成



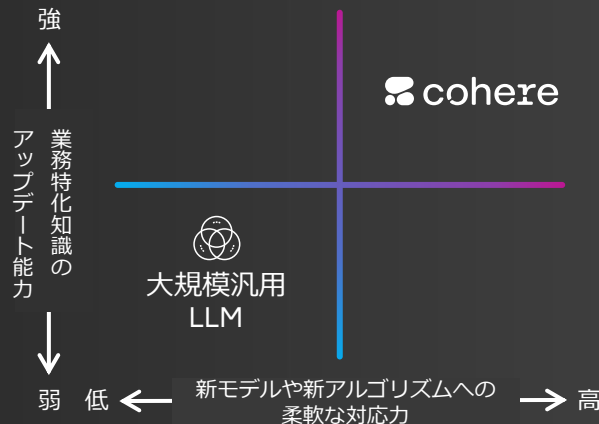
CEO **Aidan Gomez** 氏
Transformer開発者のひとり

エンジニア
111 名

研究者
67 名

 Command R⁺

LLMベンダーでユニークなポジション



2024年9月より富士通のAIサービス「Fujitsu Kozuchi」より先行スタート
エンタープライズ向け大規模言語モデル「Takane」 (仮称)

Fujitsu
uvance

 **cohere**

 **FUJITSU**

 共同開発
業務特化型LLM

Takane
高 嶺

最新大規模言語モデル
「**Command R+**」

- 企業の業務向けに最適化されたLLM
- 企業内データを高精度に利用を可能とする世界トップクラスのRAG技術
- 業界をリードするEmbed、Rerankモデル
- 主要ビジネスタスクへの高カスタマイズ性

- 日本語特化追加学習／Fine-tuning技術
- ナレッジグラフ拡張RAG (2024年7月)
- 生成AI混合技術 (2024年8月)
- 生成AI監査技術 (2024年9月)
- プライベート環境での提供

日本語最高性能を目指す

サステナブルな社会

Regenerative enterprise
(再生型企业) への変革

マテリアリティ

Fujitsu Uvance
サービスソリューション

 Fujitsu Kozuchi

富士通のテクノロジー戦略

AIを軸にした
技術領域の融合による
新しい価値創出

Converging technologies

ソーシャルデジタルツインで
社会課題を解決

AI Computing Brokerによる
計算コストの大幅削減

量子コンピューターの計算能力による
圧倒的なイノベーション

Computing

Data & Security

偽・誤情報やハルシネーション
対策技術で安心安全な社会

Network

大規模・複雑化するネットワークを
レジリエント化

AI

5 キーテクノロジー



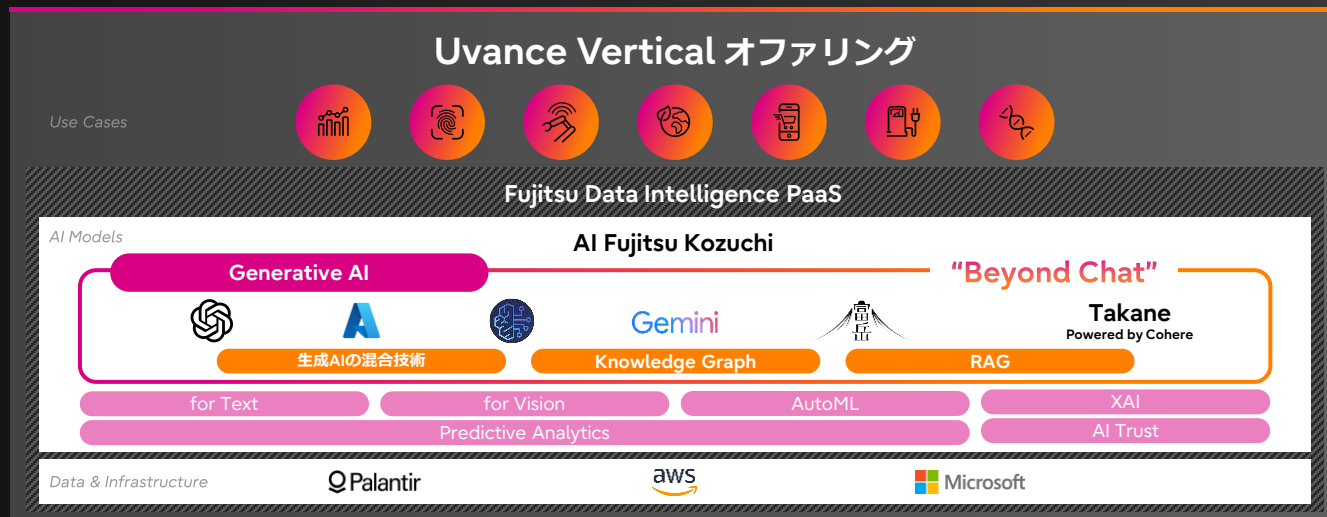
Fujitsu Uvanceにおける生成AI適用の事業方針

■ Uvanceオフリングの価値向上により、お客様はその恩恵を自然に享受できる

- ・ **特化型LLMの提供**：Cohereとの協業により、「業務特化」「顧客特化」のLLMの提供を開始
- ・ **Beyond Chat**：チャットやレポート作成、非構造データの構造化など従来のユースケースに留めず、LLMを複雑な業務にも組み込み、圧倒的に生産性を向上

■ 「精度」「コスト」「セキュリティ」において、お客様は意識せずとも最適なAIを利用できる

- ・ 要求に対する最適なLLMの選択（Routing）、複数のLLMの良いところ取り（Mixing）
- ・ Cohereとの協業により「プライベートクラウド環境」への提供を開始



Thank you